

# 茨城大学同窓会連合会会報

2017.3  
第11号



昨年から共催となったホームカミングデー

## 連合会長の就任にあたって



茨城大学同窓会連合会会長  
土田 惣一

第11回総会において、会長に選任されました文理・人文学部同窓会長の土田惣一です。各学部同窓会及び大学のご協力をいただきながら、今、連合会に求められている事柄に精一杯務めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

近年、我が国では、急激な人口減少、社会経済のグローバル化、ライフスタイルの多様化等により大きな転換期にあります。このような中、茨城大学は、2004年の国立大学法人化以降様々な改革をされ、現在は、「地域と世界において未来を切り開き活躍できる人材の育成」と「自治体や企業・団体などと連携し、地域再生の拠点」となる大学を目指して諸改革に取り組んでおります。

連合会としましても、茨城大学のこの新しい教育方向に向け、可能な限り協力・支援していきたくと思います。

このためには、まずは、多くの同窓生に、大学・学生の現在の姿を知っていただくことが肝要であります。この一環として、平成28年からは、茨城祭の機会に、「ホームカミングデー」を大学との共催としております。是非キャンパスに足を運んで、見て、感じていただければ幸いです。

今後とも、大学並びに各学部同窓会と十分に情報・意見交換を行い、在学生が輝き、茨城大学が一層飛躍していけますよう、ひいては地域の発展にも寄与してまいりたいと考えておりますので、関係各位のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 茨城大学基金 Next Step の設立



茨城大学長  
三村 信男

同窓会はもっとも熱い本学のサポーターであり、平素より大変お世話になっています。昨年は、11月の茨城祭の折に開催された同窓会連合会総会とホームカミングデー、あるいは各学部同窓会や職域同窓会との交流などを通して、同窓会の皆様との絆が一層深まりました。

さて、現在、我が国の大学は未曾有の変革期にあり、本学でも改革が加速しています。平成29年度には、人文学部が人文社会科学部に改組、教育学部が教員養成主体に改革、農学部が改組と全学レベルで大きな改革を行います。こうした大学改革を進める一方で、国からの交付金が削減されて財政的には厳しさが増しており、自主財源の確保が一層重要になっています。そのため、昨年、学内外の方々から広くご支援を頂く仕組みとして「茨城大学基金 Next Step」を設立致しました。愛称の Next Step には、未来を切り拓こうという気持ちが込められています。寄附の目的は、学生への経済的支援、教育研究の充実、国際交流及び社会連携の支援等を選択できるようになっています。基金への手続きは、茨城大学ホームページから基金の専用サイトへ進むことで簡単にでき、クレジットカードや銀行振り込み等によりご寄附頂くことができます。これを機会に、卒業生とのつながりを広げ、本学が卒業生の皆様にとって誇れる大学として成長できるよう一層努力したいと思っておりますので、多くの皆様のご協力をお願い致します。

## 同窓会交流コーナー

### 文理・人文学部同窓会の近況報告

文理・人文学部同窓会副会長兼事務局長 鈴木 章史

平成 28 年度は、第 13 回総会(隔年開催)が 7 月 2 日(土)に三の丸ホテルで会員 80 名の出席のもと開かれました。この中で、例年のとおり、茨城大学社会連携事業会への寄付金(10 万円)の贈呈と、人文学部地域連携講座の経費一部負担協力をしました。また、5 年ごとに見直しております学部卒業生名簿「2016 年版」を発刊しました。総会後の講演会では、文理学部第 18 回卒業の名誉教授 齋藤典生氏から「大学が変わる、学生も変わる 地域貢献の最前線」についてお話いただきました。その後の懇親会では、同期ごとに近況報告等のスピーチとともに記念写真の撮影をしながら、会員間の親睦交流を図り、旧交を温めました。

また、職域・地域支部として位置付けております「水

交会(学部在京同窓会)、「県庁茨大同窓会(学部横断)」並びに「県南同窓会(学部横断)」がそれぞれ開かれ、先輩後輩間の交流が和やかに行われました。

なお、2010 年から実施しております「学生懸賞論文募集」は、本年度で第 4 回となり、人文学部及び人文学部後援会と共催で行っております。本年の応募は 28 編あり、その中から、最優秀賞(賞金 10 万円) 1 編、優秀賞(同 5 万円) 3 編、佳作(同 2 万円) 1 編が選ばれ、平成 28 年 12 月 19 日授賞式を行いました。



学生懸賞論文授賞式

### 教育学部同窓会の近況

教育学部同窓会副会長 外山 彬



今年度の教育学部同窓会は、総会を開催しない年度に当たり、6 月の第 4 日曜日に当たる 6 月 26 日(日)に茨城大学教育学部附属小学校において、幹事会・代議員会を開催しました。総会のない年は、各教科から選出されている代議員のもと事業や会計の承認を受けて

います。また、27 年度に退職された 2 名の先生方、28 年度退職予定の 3 名の先生方については、次回開催年度の 29 年度総会において記念品を贈り、祝賀会を開催する予定です。

会報は、直近の教育課題に関する特集を組み、12 月

に発行しています。今年度会報 49 号は、「チームとしての学校の在り方」を特集とし、平成 27 年 12 月の中央教育審議会において、「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」が答申され、学校現場の危急的な課題となっていることについて、「チーム学校」の考え方、「チーム学校」の基盤にあるもの、「チーム学校」の実現に向けて、3 人の方々から、今後「チームとしての学校」のあるべき姿の指針となる貴重な提言をいただきました。

現在、教育学部同窓会としての円滑な運営を図るため、会員相互の交流の場や情報の共有化、事務担当者の確保が課題となっています。

### 理学部同窓会の活動と常任幹事会の役割

理学部同窓会副会長 鈴木 忠和

理学部同窓会の活動は、総会、幹事会、常任幹事会の下で実施されています。このなかで、幹事会は毎年開催され、総会提出議案、役員を選出、事業の計画と報告、会計報告等について審議しています。幹事は原則として各卒業年度各学科 1 名で当該卒業年度学科の互選により選出されることになっていますが、実際には選出の方法が難しく、また最近の幹事会の出席率が悪いこともあって、設置された「幹事選考検討委員会」において新しい幹事の選考が検討され、今年度春から新しい幹事会がスタートいたしました。写真は今年度開催された幹事会出席者です。

一方、常任幹事会は毎年 4 回開催され、同窓会活動の事務局としての役割を果たしています。会には総務、議事録、会報編集、ホームページ、会員・名簿、在学生交流推進、会計の担当常任幹事が割り当てられており、同窓会活動を推進しています。常任幹事会の活動は、毎年 1 回開催される前述の幹事会に報告され、その承認のもとに実行されています。以下

で、幹事会に報告された平成 27 年度 of 主な活動を振り返ってみると、

- ・会報編集では、第 18 号を平成 27 年 12 月に発行しました。会報には、同窓会の運営に関するニュース、理学部の研究紹介、地域の同窓会活動紹介などを含んでいます。
- ・同窓会ホームページについては、その運用は順調に推移し、アクセス数は平成 28 年 5 月 10 日までの 1 年間に 1,558 件で前年度と比べ 40% 増えています。
- ・在学生交流推進委員会は、会報への在学生の寄稿など同窓会と在学生の交流を進めました。

同窓会の活動は全体としては順調であり、今後はさらに連合会との協調を図りながら活動を推進していきたいです。



2016 理学部幹事会

## 工学部同窓会「多賀工業会」創立 75 周年記念事業を挙

多賀工業会会長 塩幡 宏規

昨年は、工学部同窓会「多賀工業会」創立 75 周年を迎え、記念事業を 7 月 2 日に挙行できました。これも創立から今日までの会員皆様方の同窓会に対する熱い想いと、大学のご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。記念事業は(1)記念品贈呈式、(2)記念式典、(3)記念特別講演、(4)祝賀会の 4 部で構成されました。記念品贈呈式では馬場工学部長様、町島工学部事務長様お立会いの下、工学部 E 1 棟前広場で「ソーラー式電波時計塔」の除幕式を行いました。工学部のシンボルとして皆様から愛されると期待します。その後会場をホテル天地閣に移し、記念式典では、楢田茨城県副知事様、小川日立市長様、日立製作所村山日立事業所長様、秋山日立商工会議所会頭様、三村茨城大学学長様からご祝辞を賜りました。さらに功労者表彰を行い現会員 40 名が表彰さ

れました。続いて白石名誉教授(元工学部長)様から「高齢者社会におけるライフサポートサイエンス」の演題で講演戴きました。その後祝賀会となり、会員同士旧交を温め和やかな雰囲気の中で終了しました。参加者は全国各支部から約 200 名で盛大に開催することができました。



「ソーラー式電波時計塔」の除幕式

本事業に関連して、ご寄附を戴きました会員の皆様や本記念事業を担当してくださいました日立総合支部関係各位に厚く御礼申し上げます。

今後も本部・支部事業を通して、会員に愛され、会員に役立つ同窓会を目指し活動していきます。

## 農学部同窓会活動 2016 年

農学部同窓会幹事長 黒田 久雄

農学部は、平成 29 年度から学部は 2 学科、大学院は 1 専攻に改組します(農学部 HP をご参照ください)。定員も 160 名となり、現在の 125 名(編入学含む)より増加します。この入学者が卒業すると農学部卒業生もさらに増えます。

農学部同窓会は、農学部の状況や同窓会活動をニュースとして発行しています。名簿発行(卒業生のための完全予約制)時から数年で住所不明になる方が多くいます。また、同封した会費振込用紙の住所変更欄を使って 100 名以上の方の住所変更も行いました。特に、最近卒業した卒業生は、仕事の関係で住所変更の頻繁な方が多く、住所不明者になりがちです。農学部同窓会事務局に住所変更の連絡をいただければ助かります。卒業生の住所等は農学部では対応できないため同窓会に名簿提供の依頼がきます。同窓会は、卒業生と在学生の間をつなぐ様々

な役割について強く期待されるようになってきました。例えば、平成 28 年(2016 年)度農学部ホームカミングデーは、卒業年に 6(西暦 1 桁目)のつく年の卒業生に案内を送付しました。同窓会の規約の目的にある「母校の発展に寄与する」に基づいてお手伝いをしました。今後も個人情報保護を守りながらも母校の発展に最善の努力をしていきますので農学部同窓会活動にご協力をお願いします。



農学部前庭紅葉と初雪

## 大学トピックス

### 茨城大学基金と社会連携事業会について

茨城大学社会連携センター長 影山 俊男



同窓生の皆さまには、日頃から本学にご支援を頂いており、心より感謝申し上げます。

三村学長挨拶のとおり、本学では平成 28 年 3 月に茨城大学基金が発足し、同年 10 月からはご寄附の受入を開始いたしました。これまで、本学へのご寄附は社会連携事業会が窓口となり、同窓会連合会をはじめ、各学部同窓会、地域・職域同窓会、及び各会員の皆さまからのご支援をいただいております。基金の創設に伴ない、社会連携事業会への寄附受付は平成 28 年 9 月末日で停止

させていただきます。同年 10 月からは基金に一元化いたしました。基金はご寄附の使途・目的を指定することができ、社会連携事業会の使途・目的も包括する形となります。社会連携事業会に代わるものとしては、『社会連携等支援』や『国際交流支援』が該当いたしますので、同窓生の皆さまにおかれましては、ご寄附先の切替えをお願いする次第です。

茨城大学では、引き続き社会連携活動を推進・支援してまいります。同窓生の皆さまにおかれましては、社会連携活動の充実に向けて、ご意見をいただけたらと存じます。今後とも、母校へのご支援ならびにご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 第11回総会、及びホームカミングデーを開催

平成28年11月12日(土)、茨城大学社会連携センター研修室において、第11回総会が開催されました。総会は福地省行前会長の挨拶に始まり、三村信男学長(連合会名誉会長)からの挨拶の後、4件の議事が諮られ、審議の結果、それぞれ満場一致で承認されました。役員交代の年度となる本年は、文理・人文学部同窓会の土田惣一会長が連合会の新会長として選任されました。各学部同窓会の近況報告や活動紹介、大学の社会連携活動報告など、当初の総会終了予定時刻を10分以上オーバーし、熱のこもった総会となりました。

総会後は、場所を福利センター(大学生協食堂)に移

し、「ホームカミングデー2016」が開催されました。総勢160名が参加し、学園祭開催中の思い出のキャンパスで旧交を温めました。連合会としては、これまで協力という形でしたが、今回からは共催となり、大学との連携を図りながらの開催となりました。若手卒業生の活躍や現役学生へのインタビュー企画など、食事を囲み終始和やかな雰囲気で行われました。次年度も学園祭に合わせ、ホームカミングデーの開催を予定しますので、皆さま、ぜひ遊びにいらしてください。

今後も大学との連携を継続し、卒業生や修了生が大学をとおして交流を深められる場を提供してまいります。

### 平成27年度事業報告

年月日	事業項目	内容
H27/10/22	第31回幹事会	①平成26年度事業報告及び収支決算について ②平成27年度事業計画案及び予算案について ③平成27年度役員交代について ④会報(第10号)の発行について ⑤ホームカミングデー2015ランチパーティーへの現役学生の参加について
H27/11/15	第32回幹事会・第10回総会 ホームカミングデー2015	①平成26年度事業報告及び収支決算について ②平成27年度事業計画案及び予算案について ③平成27年度役員交代について ※ホームカミングデー2015への協力
H28/1/12	「茨城大学社会連携事業会」へ寄付	5万円を寄贈
H28/3/1	会報「第10号」発行	発行部数:5,000部
H28/5/25	第33回幹事会	①平成28・29年度役員について ②事務局担当部局の変更について ③ホームカミングデーについて ④大学との意見交換会について
H28/7/8	第10回 茨城大学と同窓会連合会及び学部同窓会の意見交換会	大学と同窓会との連携強化策について
H28/9/23	第34回幹事会	①第11回茨城大学同窓会連合会総会の議事内容について ②ホームカミングデーの共催について ③会報(第11号)の発行について ④大学と同窓会との連携強化策について

### 平成28年度事業計画

年月日	事業項目	内容
H28/11/12	第35回幹事会・第11回総会 ホームカミングデー2016	①事務局担当部局の変更について ②平成27年度事業報告及び収支決算について ③平成28年度事業計画案及び予算案について ④平成28・29年度役員について 大学との共催事業
H28/11/28	「茨城大学基金」へ寄付	5万円を寄贈
H29/3/1	会報「第11号」発行	発行部数:5,000部(予定)
H29/5/1	第36回幹事会	①事業活動について
H29/7/1	第11回 茨城大学と同窓会連合会及び学部同窓会の意見交換会	大学と同窓会との連携について(仮)
H29/9/1	第37回幹事会	①第12回総会・ホームカミングデー2017について(仮)

\* H29/11/1 第38回幹事会・第12回総会・ホームカミングデー2017開催(総会及びホームカミングデーは茨城祭1日目に予定する。)

### 平成27年度収支決算

事項	収入		備考	支出		備考
	当初予算	収入額		当初予算	支出額	
1 繰越金	1,119,314	1,119,314		1 管理費	140,000	138,594
2 会費	250,000	250,000	同窓会連合会会費(5学部同窓会×5万円)	(1) 通信費	10,000	24,654
3 事業費	0	0	懇話会をホームカミングデーに組み入れたため会費収入なし	(2) 印刷費	120,000	113,400
4 預金利息	200	112	2月分・8月分	(3) 事務費	10,000	540
合計	1,369,514	1,369,426		2 事業費	130,000	70,000
				(1) 会議費	50,000	0
				(2) 交際費	30,000	20,000
				(3) 寄附金	50,000	50,000
				3 予備費	1,099,514	0
合計	1,369,514	1,369,514		合計	1,369,514	208,594
				次年度繰越額		1,160,832

(収入)1,369,426円-(支出)208,594円=(残額)1,160,832円(平成28年度へ繰越)

### 平成28年度予算

事項	収入		備考	支出		備考
	予算額	収入額		予算額	支出額	
1 繰越金	1,160,832			1 管理費	160,000	
2 会費	250,000		同窓会連合会会費(5学部同窓会×5万円)	(1) 通信費	30,000	会報郵送、総会等案内発送等
3 事業費	0		懇話会をホームカミングデーに組み入れたため会費収入なし	(2) 印刷費	120,000	会報5,000部印刷
4 預金利息	200		2月分・8月分	(3) 事務費	10,000	消耗品
合計	1,411,032			2 事業費	180,000	
				(1) 会議費	50,000	役員との懇談会費
				(2) 交際費	30,000	職域同窓会総会等経費
				(3) 寄附金	50,000	茨城大学基金への寄付
				4 共催金	50,000	ホームカミングデー2016の共催
合計	1,411,032			3 予備費	1,071,032	

本会の事業年度は、毎年10月1日から翌年の9月30日までとします。

## 茨城大学同窓会連合会役員

名誉会長	三村 信男	(茨城大学学長)
顧問	尾崎 久記	(茨城大学理事・副学長(学術統括))
顧問	太田 寛行	(茨城大学理事・副学長(教育統括))
顧問	影山 俊男	(茨城大学理事(社会連携))
顧問	能島 征二	(日本芸術院会員)
		(公社)日本美術展覧会副理事長
		(公社)日本彫刻会常務理事
会長	土田 惣一	(文理・人文学部同窓会会長)
副会長	堀川 賢壽	(教育学部同窓会会長)
副会長	久保田益充	(理学部同窓会会長)
副会長	塩幡 宏規	(多賀工業会会長)
副会長	福地 省行	(農学部同窓会会長)
代表幹事	糟谷 政和	(文理・人文学部同窓会幹事長)
幹事	鈴木 章史	(文理・人文学部同窓会副会長)
幹事	佐藤 瑛一	(教育学部同窓会幹事長)
幹事	山村 靖夫	(理学部同窓会常任幹事)
幹事	清水 淳	(多賀工業会理事)
幹事	黒田 久雄	(農学部同窓会幹事長)
会計監事	鈴木 暎一	(教育学部同窓会監事)
会計監事	井上 栄一	(農学部同窓会学内幹事)

## 編集後記

今年度より、同窓会連合会会長は文理・人文学部同窓会の土田惣一会長に引き継がれました。福地省行前会長及び、黒田久雄前代表幹事には2年間運営にご尽力されましたこと厚く御礼申し上げます。

同窓会連合会では、大学との連携をさらに高めるため、昨年のホームカミングデーから共催とすることといたしました。金銭的な負担はもちろんのこと、今後は企画や集客についても大学と協力し、同窓生にとって魅力のあるものにしていきたいと思っております。同窓生の皆様、ぜひ母校に遊びにいらしてください。同窓生にとって茨城大学がより身近な存在となるようにしていきたいと思っております。この2年間よろしくお願い致します。

平成29年3月 茨城大学同窓会連合会代表幹事

糟谷 政和

茨城大学同窓会連合会事務局  
(茨城大学社会連携センター事業推進課内)

〒310-8512 水戸市文京2-1-1

電話: 029-228-8781 FAX: 029-228-8089

茨城大学HP

<http://www.ibaraki.ac.jp/>

茨城大学同窓会連合会HP

<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/alumnus/union/>